

2021年5月 在ルクセンブルク日本大使館

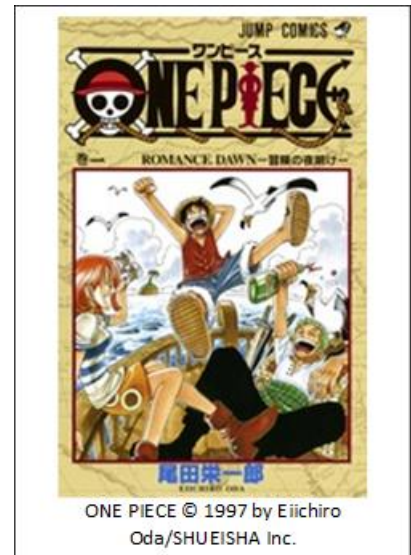
在ルクセンブルク日本大使館はこのたび、ルクセンブルクと日本の代表的なポップカルチャーであるマンガ・アニメとの間にある「絆」をご紹介する記事シリーズを立ち上げました。ルクセンブルクでは、他の欧州の国々と同様、1990年代以来マンガ・アニメが人気というだけではなく、フィギュアを作る会社やイラストレーターも活躍しており、意外とマンガ・アニメとのつながりが深いのです！初回の本記事は、そんなルクセンブルクではどんなマンガが人気なのかをご紹介します。

なお、本記事の執筆に当たっては、当地のコミック専門店「Fantasy Box」からご提供頂いた情報を参考にしております。

## 1. 「ワンピース」(尾田栄一郎)

疑いの余地もなく、世界中で大人気の「ワンピース」ですが、ルクセンブルクでも同様にトップの人気です！既に98巻を数えますが、作者の尾田栄一郎氏によればまだまだ終わりは見えないとのこと<sup>1</sup>。1997年の初版以来、実に4億8000万部超を売り上げています(ご参考まで、フランスの人気コミック「アステリックス」シリーズの売り上げは1959年以来約3億7000万部)。

ひょんなことから「悪魔の実」を食べてゴム人間になり、その代償として「カナツチ」になった少年ルフィが、世界のどこかに隠されている「ひとつなぎの大秘宝(ワンピース)」を見つけ出し「海賊王」になるため、仲間とともに世界を股にかけて大暴れ。多種多様なキャラクターや仲間との絆、強大な敵との戦いに加え、空に浮かぶ街が登場するなど多彩な舞台設定も魅力です。海賊にあこがれる一人の男の子から始まったこの物語ですが、世界政治や同盟、悲劇、複雑な要素が絡み合い、ルクセンブルクでも多くの人々をひきつけてやみません。



## 2. 「ドラゴンボール」(鳥山明)

鳥山明作「ドラゴンボール」は2位にランクインです。中国の古典「西遊記」にインスパイアされたこの作品は、1984年から1995年にかけて刊行され、2億5000万から3億部を売り上げました<sup>2</sup>(これは約2億部を売り上げたベルギーの人気コミック「タンタン」を上回ります)。「ドラゴンボール」「ドラゴンボールZ」などのアニメ作品でも有名です。

主人公の孫悟空は、仲間、師匠、宇宙人、神々、天使、他の宇宙から来た者たちまで、まさに多種多様

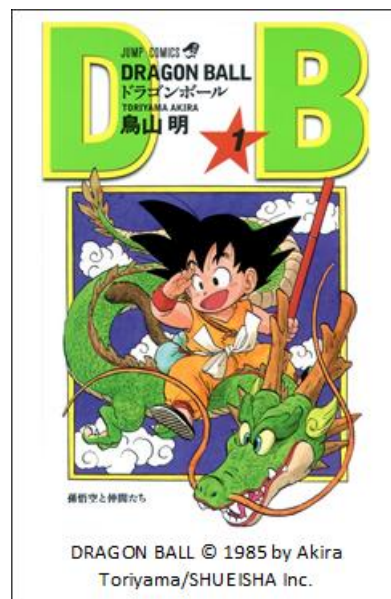
<sup>1</sup> <https://lesitedujapon.com/la-fin-de-one-piece/>

<sup>2</sup> <https://bleachmx.fr/le-manga-dragon-ball-dakira-toriyama-a-ete-imprime-a-plus-de-250-millions-dexemplaires/>

なキャラクターに出会います。7つすべてを集めれば願いがかなうという「ドラゴンボール」を巡る様々な敵たちとの戦いが大きなテーマの一つとなっています。

特筆すべきは、非常に良く練られたキャラクター達で、特に、孫悟空の影響により仲間となるかつての敵たち（ピッコロやベジータ）、この作品を際立たせる特徴の一つと言えるでしょう。これは、家族や友人など、そうするに足る十分な理由があれば、争いを克服することができるというメッセージかもしれません。孫悟空は何事もポジティブに捉えるキャラクターであり、それは時に、フリーザの地球来訪など、好まざる結果をもたらすこともありますが、それは同時に彼の大きな魅力でもあります。

魅力的なキャラクターにあふれたこの作品は、ルクセンブルクでも多くの人々に親しまれています。



### 3. 「ナルト」(岸本斉史)

「ナルト」は、2億5000万部以上を売り上げた、世界で最も読まれているマンガの一つです<sup>3</sup>。うずまきナルト、うちはサスケ、春野サクラ、はたけカカシなどのキャラクターが織りなすのは、森、山、砂漠など様々な地方に存在する「里」に暮らす忍者の一族が活躍する世界。それら一族の長である「影」の一つ、「火影」になるというのが主人公であるナルトの目標です。

「九尾の妖狐」を体に宿すナルトは、里の者たちから迫害を受けていましたが、自分の中にある邪悪な力を良い方向に使えることに気づきます。友人や教官とともに旅に出たナルトは、やがて、政治的駆け引き、家族の絆、様々な背景を持つキャラクターたちの過去の怨恨など、複雑な要素が絡み合うドラマに巻き込まれていきます。

2020年、「ナルト」はフランスで120万部の売り上げを記録し、同国で最も売れたマンガとなりました<sup>4</sup>。現在、ナルトの息子を主人公にした続編「ボルト」が出版されています。



<sup>3</sup> <https://www.mangazengan.com/ranking/books-circulation.html>

<sup>4</sup> [https://www.bfmtv.com/people/naruto-est-le-manga-le-plus-vendu-en-france-en-2020\\_AN-202101160062.html](https://www.bfmtv.com/people/naruto-est-le-manga-le-plus-vendu-en-france-en-2020_AN-202101160062.html)

#### 4. 「僕のヒーローアカデミア」(堀越耕平)

「僕のヒーローアカデミア」は、比較的最近のマンガですが、既に多くのファンを獲得しています。連載開始からわずか7年後の2021年に、全世界で5000万部以上の売り上げを記録しています。

このマンガでは、人口の8割が「個性」と呼ばれる超能力を持っている世界が描かれています。「個性」を持つ人々は、その力をどのように使うかによって、正義の「ヒーロー」にも悪の「ヴィラン」にもなることができます。

主人公の緑谷出久(みどりや・いずく)、通称「デク」は、「個性」を持たない少数派の一人でしたが、ある日、彼の勇気を見込んだ最強のヒーロー「オールマイト」により「個性」を分け与えられました。デクはヒーロー養成学校「雄英高校」に入学し、数多くの冒険と戦いに身を投じることになります。



ここまでお読み頂いた読者の方はきっと、人気のマンガは他にもある!とお思いのはず。そのとおり、例えば「呪術廻戦」、「ハイキュー」、「鬼滅の刃」など、世界で人気のマンガはここで挙げた以外にもたくさんあり、ルクセンブルクでも読まれています。是非コメントをお寄せ下さい!